



竹内街道に続く日本遺産認定へ 府が指導・助言 公平性と卓越性の両立を 府立高校の特色づくり

—加治木府議の2月定例会質疑より

加治木一彦府議は3月13日の府議会教育常任委員会で日本遺産や府立高校の再編整備と特色づくりなどについて府に問いました。概要は以下の通りです。

2017年4月、「1400年に渡る悠久の歴史を伝える『最古の国道』～竹内街道・横大路(大道)～」が大阪府で初の日本遺産認定を受けました。今年は大阪市と堺市が町人の力で作られたまちの賑わいを、池田市は植木生産の営みが生んだ集落景観を、河内長野市は巨大寺院と棚田が織りなす中世の面影が残る景観をそれぞれテーマに申請、4月中には結果が出る見通しです。

さらにいくつかの市が2019年1月の申請に向け準備を進めており、府はさらなる認定に向け指導・助言をしていくとのこと。

府立高校の再編整備と特色づくりについて、基礎学力を身に付け、社会で生きぬく力を育てるエンパワメントスクールと普通科の専門コースなどについて聞きました。生徒の興味関心や進学や就職といった進路に合わせ、高校選びの選択肢が広がることは歓迎すべきと考えます。

府は少子化で高校進学者が減り続ける中、公平な学習機会の確保す

る「公平性」と生徒の可能性を最大限に引き出す「卓越性」を高い水準で両立させることを基本理念に府立高校の特色づくり・再編整備に取り組む、と答弁しました。

このほか、小中高校の英語教育、日本語指導が必要な生徒への対応、教職員の働き方改革について質疑しました。

大阪府議会ホームページの動画配信でご覧いただけます。



▲教育常任委員会で質疑する加治木府議



大阪府議会ホームページ

▶ http://www.pref.osaka.lg.jp/gikai_giji/toppage/index.html

活動日誌より

12月 大阪市住之江区

10

大阪の高校生が英語圏への留学に必要な英語力などを身につけられるように、との目的で府などが開講している「おおさかグローバル塾plus」の修了式がありました。高校生の時期に外国で2週間とはいえ、英語で学び、暮らす経験をしたことが大いに役立つことを願っています。



▲おおさかグローバル塾plus修了式

2月 宮崎県

8,9

幼保連携型認定こども園あがた幼稚園は地域の農家から野菜の差し入れが来るなど、園長の信頼の厚さを感じさせるエピソードがたくさんあります。地域と幼稚園が力を合わせて子どもたちの育ちを応援しよう、という熱意が伝わってきました。



▲あがた幼稚園

宮崎県庁で国民健康保険制度についてお聞きしました。医療費総額を抑えるため、①がん検診の受診率 ②母子・歯科保健の取り組み ③任意の予防接種に対する市町村独自の取り組み、の3点を県が指標として設定、市町村の努力を促すそうです。↗

2月 大阪市住吉区

20

白頭学院建国高校は日本の学習指導要領に基づき授業は日本語ですが、英語と韓国語の授業に特色があります。お邪魔した時はネイティブ教員による英会話授業や、学年を越えて韓国語の習得レベルでクラス分けした授業がなされていました。



▲建国高校の英語授業



この数年、ソウル、高麗、延世の「SKY」と呼ばれる韓国の一流大学に進学する生徒を輩出しています。また、伝統芸術部が鼓を使った舞と曲芸を披露してくれました。

◀建国高校の伝統芸術部

↗ 県立農業大学校はかつて定員割れが何年も続いていましたが、わかりやすい学科名にしたり、農業高校の教員を招いてカリキュラム改革や生徒指導を充実したりしたことで志願者が増え、この4月の入学志願倍率は1.5倍だったそうです。



▲宮崎県立農業大学校

お知らせ▶



「大阪府議会議員 かじき一彦」

Facebookページにて、議員活動の情報発信をしております。当該ページに「いいね!」を押していただき、ぜひご覧ください。